



この度、「周南みらい基金通信」を創刊いたしました。ご寄附者の皆さまをはじめとする多くの方々に、本学の基金事業の活動状況や旬な情報を定期的にお届けしたいと思いますので、ぜひ、ご覧ください！



●生活支援奨学金支給対象者(令和5年度)から感謝の声が届いています (基金の使途:1. 学生の修学支援)

今年度の対象者は1年生2名となり、皆さまからのご寄付を原資に前期、後期と支給させていただいています。次年度以降は、入学定員が増え、対象者も増加することが見込まれます。また、令和6年度より国の授業料等無償化制度の拡充に伴い、本学でも合わせて対象者の拡大を検討します。

教職課程にかかる費用を気にすることなく自分の目指す将来に向けてやりたいことができる安心感があり、不安なく挑戦することができるのでとても助かっています。これから将来を考えた時、やりたいことをお金の負担が少ない状態でできること、家族への負担が少ないことにとても感謝しています。

(経済学部1年生)



学費への利用の他に、私は実家から大学へ通っているため、電車とバスの定期券等の交通費にも利用させて頂いています。そのおかげで、家計への負担や心配が減り、毎日集中して勉学に励むことができています。生活支援奨学金のために寄付してくださった企業様、ありがとうございます。

(経済学部1年生)



●「周南みらい基金」応援会を開催しました



学生の修学支援や教育研究の充実のために基金を盛り上げようと、有志による多くの地域企業様のご参加の下、7月に周南みらい基金応援会が遠石会館で行われました。会長には東ソー物流前社長の佐伯哲治様、副会長には西京銀行会長の平岡英雄様、赤坂印刷社長の赤坂徳靖様、徳山興産社長の管田英男様が就任されました。参加された皆様からは、地域の活性化のためにも応援会を拡大していこうとの力強いお言葉をいただきました。



応援会の設立にあたり

「学びたい」意欲は大変尊いものです。基金は志があっても修学困難な若者を地域が支え合うものです。彼らが夢を叶え、将来地域のリーダーとなって次の世代につなぐ、人材育成と地域発展の循環を期待しています。

周南みらい基金応援会会長 佐伯哲治

あとがき@基金事務局

本基金創設後、これまで個人様62件、企業様49件と、多くの皆様からご寄附をいただきました(令和5年12月末現在)。改めまして教職員一同、心より感謝申し上げます。今年度の基金事業は、上記奨学金事業の他、海外大学との提携や教育機関との連携等を進めています(詳細は次年度の応援会で発表させていただきます)。4月からの新学部学科開設にあたり、地域の活性化につながる基金事業のさらなる充実を図ってまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。